

## 県立病院事業評価委員会の意見を踏まえた今年度の取組み

## 1 収益確保

## &lt;意見概要&gt;

平成18年度決算は費用を抑えての経営改善であったが、収益を伸ばした上で、費用を抑えて収支が改善することが最も望ましい。

## ○ 診療科の新設・医師確保

- ・ 宮崎病院 ～ 外科1名増員（6月）
- ・ 延岡病院 ～ 神経内科1名、心臓血管外科1名確保（6月）
- ・ 日南病院 ～ 循環器科の設置（医師2名増員、4名体制）（4月）  
内科医師1名増員（12月）

## ○ 新たな施設基準の取得

- ・ 宮崎病院 ～ 医療安全対策加算（5月）
- ・ 日南病院 ～ 輸血管理料（Ⅱ）（8月）  
地域連携診療計画管理料（2月以降（予定））
- ・ 富養園 ～ 医療保護入院等診療料（9月）

## 2 経費節減

## &lt;意見概要&gt;

「現業業務の委託化」の次の展開の考えはないか。

## ○ 業務委託の推進

- ・ 医事業務の委託拡大（4月）

## &lt;意見概要&gt;

材料費の節減については、民間企業に比べて、材料業者と価格交渉する部署の体制が弱いのではないか。また、医師・看護師等に効率的に材料を使用するという意識の徹底を図る必要がある。

## ○ 診療材料費の節減

- ・ 4病院の診療材料調達業務の委託化（11月）  
～ 価格削減の取組み、職員への意識啓発の取組み

## ○ 共同購入の推進

- ・ 医薬品、小型医療機器等の共同購入の実施

### 3 良質な医療の提供、患者サービスの向上

#### <意見概要>

県立病院は、原則として入院患者を中心に診て、外来患者を減らしていく方向で対応していくべきである。

#### ○ 地域医療連携の強化

- ・ 医師会・医療機関等との連携強化  
～ 紹介、逆紹介の推進
- ・ 地域連携パスの拡大

#### <意見概要>

7対1看護のための看護師確保の取組みが必要。また、医療の質の向上のためには専門化した医療スタッフの確保・育成が必要である。

#### ○ 優れた医療従事者の確保等

- ・ 適時的確な看護師選考採用試験及び採用の実施（年複数回）
- ・ 臨床工学技士選考採用試験の実施（1月）
- ・ 認定看護師の養成
- ・ 緩和ケアナースの養成
- ・ がん薬物療法認定薬剤師の養成

#### <意見概要>

病院の経営は医療を提供するサービス業であることから、新しいサービスの提供や他の医療機関との差別化の取組みも必要である。

#### ○ 診療機能の充実

- ・ 延岡病院 ～ 救命救急センターの診療室の増設（11月）
- ・ 日南病院 ～ 骨粗鬆症外来の開設（年度末（予定））

#### <意見概要>

手数料のコストアップに留意しつつ、患者の利便性向上を図るクレジットカード等による診療料の支払いの導入に取り組む必要がある。

#### ○ クレジットカードの導入

- ・ 宮崎病院、延岡病院、日南病院  
～ 診療料等のクレジットカード支払導入（10月）